

お彼岸



御同朋の社会をめざす運動(実践運動)
兵庫教区委員会

確かなものは
今もはたらいている
如来の本願力
により
ほんが
んりき

For certain, the power of the Tathagata's Primal Vow
is working right now.

真宗教団連合2025年法語カレンダーより

御同朋の社会をめざす運動
(実践運動)

結ぶ ^{きずな} 絆 から
広がる ^{えん} ご縁 へ

『阿弥陀さまと参る』

阿弥陀さまは「あなたの今生のいのち終わっていくその時には彼の岸、お浄土ひとつへあなたを参らせる」とおっしゃってくださいる仏さまです。私がお浄土のことを分かる、分からないを問題にする宗教ではありません。「お浄土に必ず参らせる」とおっしゃってくださいる仏さまが、今ここに南無阿弥陀仏のお念仏としてご一緒にくださっていることを聞いたか聞かないかを問題とするのです。

ご法座でお聞かせいただいたお話です。

お寺の住職さんの所に一本の電話が入りました。東京でサラリーマンをしている弟さんでした。久しぶりの会話の中で、弟さんはガンで余命幾ばくもないことを知らされます。そして「俺は死んだらどこに行くんだろうか？ 住職だったら一つや二つ知っているだろう？」と尋ねられたのです。

お兄さんは電話で答えることはせず、弟さんの入院先まで駆け付けます。そしてなぜそのような事を考えるようになったか問います。

「病院にいますとお見舞いに来てくれる人がいる。私自身の心配や周りの遺されていく人の心配をしてくれる。看護師さんやお医者さんも、一日でも長く生きさせようと精一杯に身の回りのお世話をしてくれる。けれど、この大きな病院でもうすぐ命終わっていくこの私が次どこに向かっていくのか、誰も教えてくれない。住職である兄貴なら俺がどこに行くのか、一つや二つ知っているだろう？」

お兄さんは少し間をおいて、弟さんに語りかけます。

「じゃあ答えてあげよう。お前がどこに行くのか：それはワシも知らん。けれどもな、お前も小さい時、一緒に本堂でお勤めをしたね。父や母と一緒に南無阿弥陀仏とお称えさせてもらったね。その南無阿弥陀仏の仏さまが『あなたを必ず浄土に参らせる』とおっしゃってくださいるよ。お前はどこに行くんだろうか、そんな心配はしなくていいんだよ。」

西に沈む太陽の先に、阿弥陀さまと共に参るお浄土があります。私が参るお浄土を、先立って往かれた大切な方を、より見つめていくことができるのがお彼岸の季節です。



神戸中組徳本寺 津守秀憲